

令和4年度全国学力・学習状況調査 教科における学習内容の定着状況の概要（廿日市市版）

中学校国語

○正答率の状況（％）

	R4	R3
廿日市市	71.0	64.0
広島県	69.0	65.0
全国（公立）	69.0	64.6

正答率 60%以上の設問（上位2問）

- 最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する。
＜設問 4 二＞ 89.5％
- 「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する。
＜設問 3 二＞ 84.7％

正答率 60%未満の設問（下位2問）

- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。
＜設問 4 一＞ 35.8％
- 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。
＜設問 2 三＞ 48.2％

広島県との差が大きかった設問（下位3問）

- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。
＜設問 4 一＞ -4.8ポイント（廿日市市35.8％、広島県40.6％）
- 文脈に即して、漢字を書く。（のぞく）
＜設問 2 二 ①＞ -1.3ポイント（廿日市市79.8％、広島県81.1％）
- 最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する。
＜設問 4 二＞ -0.9ポイント（廿日市市89.5％、広島県90.4％）

正答率の状況から見取った課題

〈全体的な傾向〉…【評価の観点】知識・技能に課題

【問題形式】記述式に課題

- ①行書の書き方については理解できているが、「点画の連続」「点画の省略」「筆順の変化」など、それぞれがどのような書き方なのかを具体的に捉えるような行書の特徴を理解できていない。
- ②根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができていない。特に、引用の際には引用箇所をかきかっでくることが理解できていない。

① 具体化して説明したり対話したりすることで、知識を理解させる。

第2学年「新しい書写」(東京書籍)52ページ～「1 行書の書き方を学ぼう」

「点画の省略」「筆順の変化」について、書く動きと「省略」や「変化」の仕方について、理解させながら書かせる。

D マークがついているページは書き方動画をタブレット端末で視聴することができます。生徒一人一人が、いつでも、何度でも視聴できるように活用しましょう。



練習の時間に各自が書き上げた作品を使って、行書の特徴が表れているところをペアで説明し合う活動を取り入れるなど、身に付けた知識について、理解が深まる学習にしましょう。



② 引用する際のルールを理解させ、正しく引用させる。



令和3年度に引き続いて、課題となっています。考えの根拠となる情報は抜き出せていますが、「」が抜けてしまう傾向があります。中学校1年生の時にしっかりおさえましょう。

第1学年「国語1」(光村図書)60ページ「情報社会を生きる」

【目的に合った情報を集め、活用させる】学習活動で、引用の方法を理解させる。

「・・・」と書かれていて、私は〇〇〇と感じました。

引用部分

自分の考え

- 自分の書いた文章のどの部分が「引用部分」で、どの部分が「自分の考え」となっているのか、理解させることが大切。

【授業展開例】

- ・インターネット等から記事を選択する。
- ・記事に対するレポートを書く活動を設定する。
- ・書き終えたレポートをペアやグループで相互評価させる。
- ・自分のレポートを推敲させる。



- 相互評価の視点を、文章を書く前に提示する。

③ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章を工夫させる。

第2学年「国語2」(光村図書)196ページ「走れメロス」

小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動を通して、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈する力をつける。

【授業展開例】

- ① 場面に即して、人物像を読み取る。
- ② 読み深めたことなどを参考に、作品の魅力について、自分の考えをまとめる。
- ③ グループで交流する。



- 魅力をまとめる観点を提示する。
「人物像」「場面の展開」「描写」など、観点を先に設定しておく。
「描写」など、本文を抜き出すとき引用の仕方が正しいかも評価する。